

# 障害児学校だけじゃない 国の設置基準を求めて

## 4万4千筆以上の国会請願署名を提出

# 大障教ニュース

## 障害児学校の設置基準策定を

## 求める第7回全国交流集会

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

10月28日、障害児学校の設置基準策定を求め、豊かな障害児教育の実現をめざす会が、第7回全国交流集会を東京都内で開催しました。集会には、大阪の障害児教育をよくする会以下よくする会(以下、父母・教職員共同の団体をはじめ、各地の教職員組合など、全国から50人が参加しました。

文科省は「柔軟な対応」を口実に策定を検討せず

第1部の総会では、垣見尚哉事務局長(全教障害児教育部)が、1年間のとりくみを報告しました。4月からとりくんできた障害児学校の設置基準策定を求める請願署名は、集会当日までに4万4255筆が集約され、紹介議員を引き受けてくれた国会議員は10党派(自民党・立憲民主党・国民民主党・日本共産党・希望の会・社民党・無所属の会・自由党・沖縄の風・無所属クラブ)40人となりました。



全国のとりくみを交流しました

み放課後アイの施設や教職員組合以外の労働組合に協力を要請して署名を広げた県もありました。また、設置基準の策定を求める活動によって、府県議会や市議会で設置基準の問

題や教室不足の課題をとりあげるところが広がっている。報告されました。さらに、現在とりくまれている「教育全国署名」にも、設置基準策定を求める請願項目があるため、こちらの署名の合わせてとり

特別支援学校の教育条件整備は不十分のまま放置

第2部は、佐竹葉子副会長(全教障害児教育部)による、「特別支援学校に『設置基準』を」と題した学習を行いました。佐竹さんは学校教育法第3条で、学校を設置する者は、設備編成その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならない」と定められ、校舎や運動場の面積や、校舎に備えるべき施設も明記されていると述べました。例えば、小学校設置基準では、「校舎に備えるべき施設」として教室(普通教室、特別教室等)などの他に「図書室」が明記されています。従って、小学校において図書室の普通教室への転用は認められないことになり、障害児学校と同じように多様な学級があり多様な設備が必要な高等専門学校にも設置基準は設けられていません。

くむよう呼びかけられました。8月1日に行った文部科学省交渉での回答は、教室不足の状況はわかっている。障害に依りて多様な設備が必要なので、柔軟な対応をするため、設置基準を設けない」という従来通りのものだったことが報告されました。

て、特別支援学校の児童生徒数の増加に学校数の増加が追いつかず、教室不足数は全国で3430教室に達しています(2016年度文科省調査より)。また、佐竹さんは、公立学校施設費国庫負担金に関する関係法令等「で示された、学校の面積基準で計算した特別支援学校の保有面積が、必要面積の67%しかない実態も明らかになりました。この基準を小学校で見ると106%、中学校は112%、高校86%となり、他校種に比べて特別支援学校の面積の狭さは突出しています。学習後は、全国各地より、障害児学校の劣悪な実態や、その改善を求める父母と教職員の共同のとりくみなどが報告されました。大阪からはよくする会の野涯さん(元会長)と山内事務局長が大阪の支援学校の実態や支援学校増設運動のとりくみについて発言しました。交流のまとめを行った佐久美順子会長(神奈川県保護者)は、交流によって各地の現状を知り、運動について考えることができた。先生たちと地域の保護者の交流や運動によって設置基準策定を求める運動を大きくしていく」と述べました。

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



今年は記録すくめの異常気象が相次ぎ、各地で大きな被害が出ました。西日本や北海道で220人以上の犠牲を出した7月の豪雨をはじめ、最大風速44メートル以上で上陸した台風21号により関西国際空港で8千人が孤立する事態も起こりました。7月末に日本列島に上陸した台風12号は、通常とは逆の西に進むという特異な進路をとりました。埼玉県熊谷市で歴代最高の41.1度を記録した今夏の猛暑について、気象庁は「災害級の暑さ」と宣言しました。

過去100年の海面温度の上昇率によれば、世界の海の平均に比べ、日本の近海は2.3倍もの早さで海水温が上昇していることが明らかになりました。専門家の研究では、どうやらこのことが異常気象を底上げしている可能性があるようです。

気象庁のアメダスで、各年の72時間の最大降水量平年比の全国平均値を比べると、1998~2010年の約30年間で10%増加していました。つまり、500ミリの雨量が550ミリになったということです。これだけ雨量が増えれば、一つの地域が耐えられる雨量の限界を超えてしまつて危険が生まれます。7月の豪雨では、倉敷市真備町で51人が命を奪われました。こうした水害が全国各地で起こる可能性もあります。

日本政策投資銀行の調査(10月30日発表)では、大阪府北部地震・西日本豪雨・台風21号・北海道胆振東部地震により、1兆千500億円の経済的影響が出ました。静岡県予算の歳出額に匹敵する額です。地球温暖化による災害に加え、温暖化以外の自然変動が加わる、複合災害への備えが求められます。

# 3000万署名で改憲阻止へ 草の根から憲法守ろう



講演する渡辺治さん

大阪憲法会議幹事長の丹羽徹さんの開会あいさつ、「1000人委員会・大阪」代表の山本一英さんの連帯あいさつなどに続き、渡辺さんの講演が始まり



10月14日、大阪憲法会議・共同センター主催の「秋の憲法大学習会」が大阪市中央区民センターで開かれ350人が参加しました。大障教からも5人が参加しました。一橋大学名誉教授の渡辺治さんが「安倍9条改憲の危険性と発議阻止に向けてのたたかい」と題して講演し、「安倍政権を退陣させ、憲法が生きる日本を実現しよう」と呼びかけました。

ました。渡辺さんは3000万署名の今日的意義と闘いの展望について詳しく述べ、特に憲法9条に自衛隊を明記する自民党改憲案について、「武力行使が可能となった自衛隊が合憲とされれば、戦争法の全面発動で、米軍の軍事行動への加担が進む」と批判しました。

また、世論調査で支持されているのは、「海外で人を殺さない自衛隊だ」と述べ、「9条2項が禁止する軍隊であってはならない」という努力が、国民の信頼する自衛隊をつくってきた」と述べました。

最後に渡辺さんは、「安倍改憲を阻むことは、統一の力・共同の力で安倍政治を倒す新しい政治のための共同の第一歩を踏み出すことになる」と強調し、「共同の力で野党連合政権をつくり、憲法が生きる日本をつくらう」と呼びかけました。



## 分会紹介

### 第26回

分会名：八尾支援学校分会

障害種別：知的障害

児童生徒数：392人

どんな分会？：八尾支援学校は、今年度の生徒数が392人に達する「過大・過密」校（知的障害）です。

その解決をめざし、小さな分会ですが、東大阪支援学校分会や保護者、地域の関係者とともに「東大阪の障がい児教育をよくする会」に結集し、東大阪に支援学校建設を求める運動に取り組んでいます。

職場では、時々未組合員も含め相談が入ることもあり、「あってよかったなあ」という分会をめざし、活動していきたいと考えています。

集う、学ぶ、つながるはチカラ。  
命輝く平和な社会と障害児教育を今こそ！

## 第18回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 宮城

日程：1月12日（土）～14日（月）

毎年、この時期の実践分科会で、素晴らしい実践レポート発表を聞き、刺激を受けています。特に、同世代の先生の発表を聞くと、身が引き締まる思いがします！宮城ということで、牛タンも楽しみです！！



松石江梨香

(東大阪支援学校分会)

青年組合員は負担少なくて仙台で学べます！ぜひ組合に加入してね！